

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 11 月 11 日 (17 : 30 ~19 : 30)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー あずま野職員 14 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	1 人	13 人	0 人	0 人	14 人

前回の改善計画	・初期支援に伴う利用者情報申し送りの徹底 (記録の唱和、メモを取るなど) や確認 (一人で判断せず他職員に確認) の徹底。
前回の改善計画に対する取組み結果	・利用初期の方の特に重要な情報については職員全員が把握できるように抜粋してノートに記載、又は資料を作成し、朝礼・終礼時に唱和や確認を行っている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	4	8	1	1	14
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	2	11	0	1	14
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	5	7	1	1	14
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	3	10	0	1	14

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
①朝礼・終礼、職員研鑽会にて申し送り事項を振り返り、情報共有できている。 ②介護支援専門員が、本人・家族の希望を聴取し、初期支援に反映させている。 ③利用者が不安を感じないように声掛けをしたり、利用者間の相性等を配慮して席順を調整している。 ④家族とこまめに情報交換を行い、迅速な対応を行うことで信頼関係構築に努めている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
①利用者のニーズや情報の周知・共有は図れているが、職員によっては忘れてしまっていることがある。 ③利用初期では情報が少ない、又は十分に把握できていない為、上手くコミュニケーションが取れていないことがある。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
・初期支援に伴う重要なニーズや情報は申し送りの徹底に加え、職員間で声を掛け合い確認をこまめに行うことで情報共有及び、支援のレベルアップを図る。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 11 月 11 日 (17 : 30 ~19 : 30)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー あずま野職員 14 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	3 人	10 人	1 人	人	14 人

前回の改善計画
・利用者とはゆっくり関わる日を作り、利用者の思いを聴取して把握する。
・現在、リハビリに関しては個別の時間を設けているが、それ以外でも個別支援の日を計画して実施する

前回の改善計画に対する取組み結果
利用者とのコミュニケーションを取る機会「茶話会」を毎月数回計画して実施する中で得た利用者個々の思いや希望に沿い、個別支援を実施している。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール) がわかっていますか?	1	7	6	0	14
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	2	8	4	0	14
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	4	4	5	1	14
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	1	9	2	2	14

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
①介護計画モニタリングの担当利用者については把握できている。
②「茶話会」を通して、利用者の「～したい」が聞けるようになった。
③表題を目指した関わりを意識して日々関わりを持つようにしている。
④職員研鑽会で内容を発言し、次回対応を職員全員で意見を出し合っている。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
①本人の目標に合った支援を実施したいが、ゆっくり交流を持つ時間は限られており、把握できていない部分がある。
②利用者の「～したい」がわかっても同じ利用者にはばかり聞くわけにもいかず、利用者によっては「特にない」と会話が続き、思いを引き出すに至っていない。
③本人の目標や意向を掴みきれしていない。介護計画を十分に把握できていないところがある。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)
・「茶話会」について職員間で話し合う場を設け内容の一部見直しを検討し、より意義ある会にする。
・個別支援計画・実施を継続し、利用者の QOL 向上を図る。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 11 月 11 日 (17:30 ~19:30)

3. 日常生活の支援

メンバー あずま野職員 14 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2 人	9 人	3 人	0 人	14 人

前回の改善計画	・フェースシート等の情報の読み込みによる把握に加え、職員個々が利用者に関わる時間を作り、利用者の情報を聴取し生活歴や背景を理解する。
前回の改善計画に対する取組み結果	前項の通り「茶話会」で利用者とのコミュニケーションを取れる機会を設けており、職員個々の情報収集能力は向上してきている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が 10 個以上把握できていますか?	1	2	7	4	14
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	5	9	0	0	14
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	1	10	3	0	14
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	8	5	0	1	14
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	4	9	0	1	14

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
②利用者個々の状態に合わせた食事・入浴・排泄等の日常生活における基礎的な介護が提供できている。 ④利用者の日々の変化に注意を払い、表情・仕草・訴え・気持ちを職員間でその都度共有し対応している。 ⑤こまめな申し送りにより迅速に情報を共有して対応を行うことができている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
①利用者フェースシート、申し送りノートを十分に活用できていなかったり、熟読できていない。又、利用者と上手にコミュニケーションが取れていない (引き出せていない)、時間が足りていない。 ③訴えを言葉として表せない利用者について、思いを理解しようという姿勢が足りていないことがある。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
・利用者ひとり一人の個性をとらえ、その方の暮らし方や歴史について理解を深めることができるように、職員それぞれが課題を持ち利用者に関わりを持つ。(「以前の暮らし方」把握の数を増やす) ・介護職員が自らをご利用者様の立場に置き換えてみて、気持ち良い介護ができているかを自問する。又、事例検討を通した勉強会を行いレベルアップを図る。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 11 月 11 日 (17 : 30 ~19 : 30)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー あずま野職員 14 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2 人	10 人	2 人	0 人	14 人

前回の改善計画
・資料読み込みによる把握、及び利用者と接する中での情報収集により把握する。又、ミーティングで職員間で共有する。地域資源については知識を深めるため、勉強会のテーマに取り入れて実施する。

前回の改善計画に対する取組み結果
利用者及び利用者家族より積極的に情報収集する意識が高まってきている。その中で得た情報は記録や申し送り共有が図れている。地域資源については今年度内に勉強会を実施予定である。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	1	10	3	0	14
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	1	10	3	0	14
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	1	8	5	0	14
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	2	7	2	3	14

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
①本人や家族からの聞き取り、又は資料から情報を収集して理解に努めている。
②利用者が地域で近所づきあいが円滑に行えるように隣人や周辺の方と連携を取り、支援している。
④地域資源については勉強会のテーマに挙げて実施して知識を深めている (11/24 予定)

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
①②③在宅時の生活パターンや地域での人間関係など細部までは把握できていない。
④介護支援専門員が主として利用者と地域資源とを繋げる役割を担っている。介護職員については把握に乏しく、今後も知識を広げていく必要がある。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)
・利用者が在宅時にどのような生活をされ、誰と関わりを持っているかを、資料から、又は、日々の関わりの中で情報を収集して理解を深める。
・利用者本人をサービス以外で支援していくうえで必要な社会資源について学ぶ機会を設ける。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 11 月 11 日 (17:30 ~19:30)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー あずま野職員 14 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画
なし。

前回の改善計画に対する取組み結果

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	3	11	0	0	14
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	7	7	0	0	14
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	6	8	0	0	14
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	6	8	0	0	14

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
①例として一人暮らしの利用者については配食サービスや、隣人の見守りなどを活用して生活されている。
②本人や家族の希望や介護状況等を勘案して適切なサービスを提供している。
③④日々の変化やニーズについてはこまめな申し送りを行って迅速な周知、支援を行っている。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
特になし。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)
特になし。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 11 月 11 日 (17:30 ~19:30)

6. 連携・協働

メンバー あずま野職員 14 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0 人	8 人	4 人	2 人	14 人

前回の改善計画
・カンファレンスや担当者会議に介護職員がケースによっては参加できるように調整を行う。 ・利用者が偏る事なく参加ができる地域の活動やイベントの情報を収集して実施する。(区の会合や総会に出席させて頂く)
前回の改善計画に対する取組み結果
・業務の都合上、介護支援専門員以外での参加が調整できず、介護職員の参加は行えていない。 ・定例で参加しているイベント等以外での実施には至っていない。区の会合、総会は機会があれば参加させて頂けるよう働きかけを行っているが参加はできていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関 (医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所) との会議を行っていますか?	1	5	3	5	14
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	0	7	0	7	14
③	地域の各種機関・団体 (自治会、町内会、婦人会、消防団等) の活動やイベントに参加していますか?	1	9	2	2	14
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	3	9	1	1	14

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
①②管理者及び介護支援専門員が病院のソーシャルワーカーやサービス事業所の職員と連携し、サービス担当者会議を行っている。市や地域包括にも個別に相談したり、会議に参加したりしている。 ③地域サロンや区の美化作業に参加させて頂いている。 ④定例の交流会・食事を地域の方を招いて実施している他、ふれあい館を地域の方に使用して頂いている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
①会議の時間と業務の都合が合わず、介護員の出席は難しいのが現状。 ②①同様に都合がつかず、介護支援専門員のみでの参加で介護職員の会議参加はできていないが、市や地域包括が主催する講演会等への参加は行っている。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
・引き続き介護職員の会議参加を調整して検討する。参加できない際は照会を事前に行い、意見を反映させる。 ・地域の方からの情報や市の広報などを通じて利用者が参加できるイベントを計画して実施する。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 11 月 11 日 (17:30 ~19:30)

7. 運営

メンバー あずま野職員 14 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	0 人	10 人	3 人	1 人	14 人

前回の改善計画	・地域運営推進会議等で地域の困りごとに協働で取り組める事があれば積極的に参加する。
前回の改善計画に対する取組み結果	・現在、地域での困りごとを共同で取り組んでいることはない。今後何か協力できることがあれば参加させて頂く。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?	0	9	3	2	14
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1	12	0	1	14
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	2	10	1	1	14
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	2	9	2	1	14

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
①職員研鑽会で協議の場を設けており、議題についても事前に募集している。 ②意見や苦情があれば職員間で協議し、迅速な対応を行い、信頼関係を損なわないように努めている。 ③④地域運営推進会議を中心に地域の方から意見を聴取して運営に反映させている。例として看板の建て替えや地域への啓発活動として公民館掲示板への広告掲載などがある。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
①職員によって意識の持ち方に差異があり、意見表出にバラつきがある。 ④地域の困りごとに協働した取組みは行えていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
・地域運営推進会議等で地域の困りごとに協働で取り組める事があれば積極的に参加する。(継続)	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 11 月 11 日 (17 : 30 ~19 : 30)

8. 質を向上するための取組み

メンバー あずま野職員 14 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2 人	10 人	1 人	1 人	14 人

前回の改善計画

- ・地域連絡会について周知を図る。
- ・ヒヤリ・ハットの意義について職員全員が理解できるように勉強会を行う。

前回の改善計画に対する取組み結果

- ・運営や専門的分野の連絡会である為、内容について全職員に周知ができていない。
- ・ヒヤリ・ハットの勉強会を行い知識を深めることで職員の意識変容に繋がっている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修 (職場内・職場外) を実施・参加していますか	5	7	0	2	14
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	1	9	0	4	14
③	地域連絡会に参加していますか	1	5	2	6	14
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	4	9	0	1	14

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ①②職場内では定期的にテーマ毎の勉強会を実施している。外部研修にも職員の役職や経験年数に合わせて受講している。
- ③市が開催する居宅支援事業所連絡会や地域密着型事業所集団指導へ管理者及び介護支援専門員が参加している。
- ④ヒヤリ・ハット報告書にもとづき、事故に繋がらないように対策検討を定期的実施している。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ①②外部研修及び資格取得に関する研修は非常勤職員に関しては、業務上参加が難しくできていない。
- ③管理者及び介護支援専門員のみ参加で、内容について理解できていない職員が多い。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)

- ・地域の連絡会へ参加した際、内容について周知できるものはミーティング等を通じて報告する。
- ・非常勤職員で希望者がいれば外部研修や資格取得に関する研修に参加できるように業務調整を行う。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 11 月 11 日 (17 : 30 ~19 : 30)

9. 人権・プライバシー

メンバー あずま野職員 14 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	6 人	8 人	0 人	0 人	14 人

前回の改善計画	・虐待や権利擁護についての勉強会を定期的実施する。
前回の改善計画に対する取組み結果	・職場内の勉強会実施で理解を深めることができている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	10	4	0	0	14
②	虐待は行われていない	10	4	0	0	14
③	プライバシーが守られている	8	6	0	0	14
④	必要な方に成年後見制度を活用している	1	2	1	10	14
⑤	適正な個人情報の管理ができている	8	5	1	0	14

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
①緊急の場合を除き、身体拘束は行わず、ベッドや車いす等から転落などの危険性のある利用者については見守りを手厚く行うことで対応している。	
②③年度内に 1 度は職場内で勉強会を実施し、関連した外部研修にも極力参加するようにしており、意識の強化が図れている。	
⑤記録の管理は利用者個々にファイルし保管している。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
④については現在対象者がいない。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
人権・プライバシーに関する勉強会を来年度も行う。	

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 長生会	代表者	柳 文生	法人・事業所の特徴	利用者、家族と職員間の連携を密に図り、利用者一人ひとりに事業所の多機能性を活かしたサービスを柔軟に提供し、急な利用希望や困りごとにも昼夜問わず可能な限り対応しています。又、併設のグループホームと共に地域に根ざしたサービス事業所を目指し、地域で行われる美化作業や会合等へ積極的に参加すると共に、地域の皆様を招待してのグラウンドゴルフ大会や交流会を実施している他、多目的ホールを地域の皆様の活動に使用して頂いています。
事業所名	ふれあいの家 あずま野	管理者	佐野 純一		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	人	5人	人	1人	人	1人	3人	人	11人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> 自己評価を今後もスタッフ全員で取り組み、各項目の課題を周知して改善し、職員全員が「できている」と自信を持てるようにしたい。結果として9項目の自己評価「できている」が今回約68%であったので、来期は80%を目標とします。 	<ul style="list-style-type: none"> 前回、「できていない」が多かった2番の項目について、個別支援計画を今年度のテーマとして取り組みを行った。 9項目の自己評価「できている」が今回は79%であった。 	<ul style="list-style-type: none"> 利用者の「～したい」の実現を目的に利用者とは話をする時間（茶話会）を作ることの良いと思う。積極的にそういう取り組みをするべき。内容については利用者に事前に会話のテーマを知らせた方がよいのでは。 	<ul style="list-style-type: none"> 100%に近づけるように、各項目、取り組みを行いたい。特に利用者の「～したい」の実現と地域との連携・協働を重点項目として実施する。
B. 事業所のしつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> 評価を頂いた委員の方で4つのチェック項目のうち25%が「わからない」との回答があったので、運営推進会議の際や事業所のイベント等に参加して頂いた際にしつらえや環境を確認して頂く機会を作ります。 	<ul style="list-style-type: none"> 運営推進会議を行う際や地域交流会を行う際に積極的に本館に案内して、しつらえ・環境を確認して頂いた。 今回は「わからない」の回答が17%であり前回より減少した。 	<ul style="list-style-type: none"> 事業所のカギをことに対しては、不審者の侵入を安易に許すリスクがある。防犯カメラをはじめ、安全を確保できるように対策を講じたほうがよい。 	<ul style="list-style-type: none"> 推進会議の委員をはじめ、地域の方に事業所のしつらえや環境を知って頂く機会を作り、周知を図る。 防犯対策についてマニュアルを作成する。
C. 事業所と地域のかかわり	<ul style="list-style-type: none"> 事業所をより多くの地域の方に知って頂けるように交流機会（サロンなど）がある際は事業所の特徴等、説明の場を設けて啓発活動を行う。 看板の変更、設置場所について検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域交流会では個別に説明を行ったり、パンフレット渡すなどの活動を行った。 看板の建て替えを行った結果、事業所のPRに繋がっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 推進会議の委員は分かっているが、その他の地域の方はどうかは分からない。 看板については立派なものができている。以前のものより目立っており、宣伝効果もある。 地域のサロンや夏祭りに参加されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 東野区のサロンに出席して事業所の特徴などを説明する講演を行い、多くの地域の方へ事業所をPRする。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	<ul style="list-style-type: none"> ご近所の心配な方について地域の方に情報を頂き、事業所として関わりが持てる事があれば積極的に協力します。 	<ul style="list-style-type: none"> 現状は登録者以外の方についての関わりは、持つ事ができていない。 	<ul style="list-style-type: none"> 近所の心配な方については登録者以外の方とは個人情報問題もあるので、慎重にならざるを得ない。間接的な協力ができればいいのでは。 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、ご近所の心配な方について地域の方に情報を頂き、事業所として関わりが持てる事があれば積極的に協力します。
E. 運営推進会議を活かした取組み	<ul style="list-style-type: none"> 地域運営推進会議で報告する利用者の事例については次回以降、個人名をイニシャルで表記する。 前項D同様に地域の心配な方の情報があれば地域運営推進会議等で事例検討を行い、事業所として関わりが持てる事があれば積極的に協力します。 	<ul style="list-style-type: none"> 平成28年度の地域運営推進会議より報告する事例については、個人名を全てイニシャルで表記している。 	<ul style="list-style-type: none"> 東野区の方が利用登録した場合は推進会議等で知らせていただければ、地域でも見守りができるように体制を作りたい。 個人情報の保護も大事ではあるが、地域で支えていく為にはある程度、実態を知る必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 東野区の方が事業所に登録、利用する場合は、地域運営推進会議でお知らせして地域で支えていける体制を構築する。
F. 事業所の防災・災害対策	<ul style="list-style-type: none"> 次回の防災訓練より計画書を委員の方達にお渡しする。 地域の防災訓練があれば参加させて頂く。 	<ul style="list-style-type: none"> 火災訓練についての計画書は今年度より委員の方に配布し、ある程度周知は図れている。 地域の防災訓練参加は未実施により、行えていない。 	<ul style="list-style-type: none"> 小郡市は過去に災害が起きたことがあまりなく、取り組みが少ない面がある。 災害対策を全て事業所にお願いする訳にはいかないので、今後は地域でも取り組みをしていかないといけない。訓練を行う場合はお知らせします。 	<ul style="list-style-type: none"> 風水害を含む事業所の災害対策マニュアルを委員の方に配り、周知を図る。また、積極的に訓練に参加して頂く。

